

若鳩

WAKABATO

発行所

高知県立高知小津高等学校
総務部・PTA事務局

〒780-0916

高知市城北町1-14

TEL 088-822-5270

FAX 088-823-6387

二学期を振り返って



教頭 山崎 早智

今年も残すところ十日ほどとなりました。今学期は若鳩祭、ミニ体育祭を始め、部活動の各種大会への参加、SSHや理数科関係の発表や探究活動に、全力で取り組む皆さんの姿を見ることができました。その一方で、思うように学業成績が伸びず苦しんだ人もいるかもしれません。三年生でも、希望がかなって年内に進路が決定した人、これから本格的な受験シーズンを迎える人、さまざまな思いで年末を過ごすことと思います。地球の運動について―(魚豊)という作品の中に、心を動かされる言葉がありましたので、紹介したいと思います。

「考えろ。その為に文字を学べ。本を読み。物知りになるためじゃないぞ。『考える』だ。一見、無関係な情報と情報の間に関わりを見つけて出せ。ただの情報を、使える知識に変えるんだ。その過程に知性が宿る。……それがあれば、留まる勇氣と踏み出す度胸が得られる」

この作品タイトル『チ。』には三つの意味が込められていると考えられます。地球、地動説の「地」、知識、知性、真理を探究する「知」、そして知識や信念をつなぐために流された「血」です。舞台は十五世紀のヨーロッパ。教会が説く天動説こそが絶対的な真理であり、地動説を研究することは異端とされ、命を危険にさらす行為でした。にもかかわらず、登場人物たちは地動説の持つ数学的な美しさや合理性に心を奪われ、

苛烈な拷問や死の恐怖に直面してもなお、「知りたい」という純粹な情熱を手放すことはありません。「神」に判断や責任をゆだねるのではなく、たとえ命と引き換えにしても、自分の頭で考え、真理に触れる瞬間の感動を切実に求めるその姿には圧倒されます。そして、唐突に、容赦なく、理不尽に彼らの命は絶たれ、世界や歴史が変わる瞬間を、ついに誰一人として見ることはありません。しかし、その「知」は後世の人に託されていくのです。

もちろん、この作品はフィクションです。しかし、私たちは地学、あるいは世界史上の事実としてコペルニクスが提唱した「地動説」を知っています。その「知」は、決してコペルニクス一人が生み出したものではなく、無数の人々が数百年をかけてコペルニクスまでつないできた「知」、時には「血」の集積の上にあるのだと気づかれます。そして、一五四三年にコペルニクスが提唱した「知」のボタンがガリレオ、ケプラー、ニュートンによつ

第111号若鳩

- ・二学期を振り返って
- ・活躍の記録
- ・後期生徒会執行部役員決定
- ・読み聞かせ実習
- ・カウンセラー便り
- ・ミニ体育祭
- ・若鳩祭
- ・SSH活動状況報告
- ・PTAの活動報告
- ・進路指導部より

など

<http://www.kochinet.ed.jp/ozu-h/>

てつながれ、最終的に一八三八年にベッセルが地動説を証明するまで、実に三百年がかかっているという事実のために息が出ます。しかし、自然科学のみならず、数学、歴史、文学、芸術、およそ私たちが今学んでいる学問は、すべて先人たちの「知」の集積と言えるのではないのでしょうか。そして、私たちは誰かが命懸けでつないだ「知」のボタンを託され、それぞれが置かれた立場でそれを後世につなぐ役割を負わされた、ピースの一つであるとは言えないでしょうか。「考える為に学べ。知性があれば留まる勇氣と踏み出す度胸が得られる」。これは正解なき時代を生きる私たちにとっても、心に響く言葉です。

ここで、生徒の皆さんに聞きたいのは、普段何気なく使っている「目標」と「目的」の違いです。「三か月以内に五キロ痩せる」。「インターハイで上位入賞する」。「教師になる」。これらは、あなたにとって目標でしょうか。目的でしょうか。よく似た言葉ですが「目標」は「しるし」、「的」は「ま」と読みます。つまり、目的とは何のために生きるのか、どんな生き方をしたいかという理想の姿。目標とはその理想に近づいていくかを測る目印と言えるのではないのでしょうか。では、「〇〇大学に入る」とはあなたにとって、目標ですか。それとも目的ですか。志望する大学に合格したからといって、それはゴールではありません。そこで何を学び、最終的にどんな生き方をしたいのか。「知」は受験を勝ち抜くための方便ではなく、留まる勇氣と踏み出す度胸を得るための力です。小津の生徒には、自分が幸せになるだけではなく、学び続け、周囲の人や社会を幸せにできる人になってほしい。そう願っています。

三学期には、スキー研修や錬歩会などが行われます。三年生は大学入学共通テストを経て、各大学の二次試験に臨む人も多いと思います。最後まで自分を信じて頑張ってください。心から健闘を祈っています。

活躍の記録

団体表彰

◆第69回日本学生科学賞高知県審査委員会
最優秀賞

山本 愛莉 (3-7 H)
岡村 来波 (2-1 H)
尾崎 璃子 (2-1 H)
中久保慶多 (2-7 H)

個人表彰

◆令和7年度高知県高等学校総合文化祭

第9回自然科学部門発表会

○物理部門
優秀賞

尾崎 璃子 (2-1 H)

【書道部】

◆第59回高野山競書大会

管長賞

福島 彩乃 (2-2 H)

毎日新聞社賞

宇根 瑞希 (3-6 H)

審査委員長賞

池澤 柚月 (3-2 H)

岸田 さら (2-5 H)

高野山書道協会賞

渡邊 彩巴 (3-5 H)

推薦

宇田 陽香 (1-3 H)

山地 沙和 (1-3 H)

保科 結乃 (1-4 H)

今橋 美紅 (1-5 H)

大川 琉子 (1-5 H)

◆第54回全国高校書道展

特選

宇根 瑞希 (3-6 H)

宇田 陽香 (1-3 H)

準特選

渡邊 彩巴 (3-5 H)

福島 彩乃 (2-2 H)

岸田 さら (2-5 H)

山地 沙和 (1-3 H)

保科 結乃 (1-4 H)

今橋 美紅 (1-5 H)

大川 琉子 (1-5 H)

◆第26回高校生国際美術展

○書の部

奨励賞

宇根 瑞希 (3-6 H)

佳作

渡邊 彩巴 (3-5 H)

福島 彩乃 (2-2 H)

岸田 さら (2-5 H)

眞城 花 (1-2 H)

宇田 陽香 (1-3 H)

影山 結美 (1-3 H)

今橋 美紅 (1-5 H)

大川 琉子 (1-5 H)

◆第22回安芸全国書展高校

生大会

審査員特別賞

池澤 柚月 (3-2 H)

優秀賞

渡邊 彩巴 (3-5 H)

入選

宇根 瑞希 (3-6 H)

福島 彩乃 (2-2 H)

宇田 陽香 (1-3 H)

大川 琉子 (1-5 H)

◆第49回全国高等学校総合文化祭(香川大会)書道部門

出場

渡邊 彩巴 (3-5 H)

宇根 瑞希 (3-6 H)

◆第20回全国高校生へ書道

SI1グランプリ

○臨書の部

準グランプリ

福島 彩乃 (2-2 H)

岸田 さら (2-5 H)

まほろば賞

大川 琉子 (1-5 H)

◆第36回中岡迂山記念全国書展

北川村教育長賞

渡邊 彩巴 (3-5 H)

迂山奨励賞

宇根 瑞希 (3-6 H)

岸田 さら (2-5 H)

宇田 陽香 (1-3 H)

褒状

大川 琉子 (1-5 H)

◆第34回国際高校生選抜書展

入選

池澤 柚月 (3-2 H)

宇根 瑞希 (3-6 H)

岸田 さら (2-5 H)

宇田 陽香 (1-3 H)

◆【美術部】

◆第79回高知県美術展覧会

○グラフィックデザイン

入選

加納 杏華 (2-1 H)

【吹奏楽部】

◆第49回全国高等学校総合文化祭(香川大会)吹奏楽

部門

出場

佃 健司 (3-6 H)

西山 敦 (3-6 H)

山本 愛莉 (3-7 H)

宮原 初唯 (2-2 H)

実藤 暖佳 (2-4 H)

◆令和7年度高知県吹奏楽

コンクール

○高等学校A部門

銀賞

小川 花 (3-1 H)

山下 倖明 (3-2 H)

森澤 亜衣 (3-4 H)

川崎なつみ (3-6 H)

西山 敦 (3-6 H)

山本 愛莉 (3-7 H)

大川 彩心 (2-2 H)

城寶明日香 (2-2 H)

松繁菜々子 (2-2 H)

公文 凛 (2-3 H)

岡田 礼 (2-4 H)

実藤 暖佳 (2-4 H)

田中 寛太 (2-4 H)

濱田ことみ (2-5 H)

立仙 愛依 (2-6 H)

中野 恵美 (1-1 H)

山中 彩菜 (1-1 H)

北川真梨弥 (1-2 H)

中川 愛梨 (1-2 H)

松崎 奏流 (1-2 H)

井上 沙耶 (1-3 H)

井村 柚葉 (1-3 H)

小笠原 柚 (1-3 H)

清本 凜 (1-3 H)

山本 真菜 (1-3 H)

川崎陽菜穂 (1-4 H)

三好 琴音 (1-4 H)

小松 美月 (1-5 H)

窪田 宗介 (1-6 H)

福井 愛子 (1-6 H)

山本 夏実 (1-6 H)

石黒 心菜 (1-6 H)

森岡 綾子 (1-6 H)

小松 姫愛 (1-7 H)

真城 結衣 (1-7 H)

◆【放送部】

◆第72回NHK杯全国高校放送コンテスト

○朗読部門

出場

山本 莉緒 (3-5 H)

◆【将棋囲碁部】

◆第49回全国高等学校総合文化祭(香川大会)将棋部門

○男子個人戦

出場

西岡 由乃 (3-4 H)

◆第38回全国高等学校将棋

竜王戦高知県予選

第1位

岩崎十二郎 (1-5 H)

◆第38回全国高等学校将棋

竜王戦

出場

岩崎十二郎 (1-5 H)

◆【演劇部】

◆第75回高知県高等学校演劇コンクール

優秀賞

藤川 彩楓 (2-1 H)

吉岡 翠 (2-1 H)

門脇 大輝 (2-2 H)

高橋くるみ (2-3 H)

【卓球部】

◆第78回四国高等学校卓球選手権大会

男子団体
出場

田村 朱麗 (2-3 H)
東 あき (2-4 H)
西村 ちな (1-2 H)
山諸 天地 (1-7 H)

男子ダブルス
ベスト8
濱田 隼矢 (2-2 H)
奥野 海翔 (1-2 H)

男子シングルス
ベスト8
濱田 隼矢 (2-2 H)
奥野 海翔 (1-2 H)

女子団体
第3位
下元 千夏 (2-3 H)
西田 瑠来 (2-4 H)

女子ダブルス
第3位
小原 彩羽 (1-5 H)
逢坂 穂花 (1-7 H)

男子シングルス
出場

令和7年度高知県高等学校
校秋季卓球選手権大会

男子団体
第2位

清岡 和樹 (3-4 H)
的場 遼斗 (3-4 H)
黒原 伊吹 (2-1 H)
濱田 隼矢 (2-2 H)
奥野 海翔 (1-2 H)

黒原 伊吹 (2-1 H)
田上 輝 (2-2 H)
濱田 隼矢 (2-2 H)
井上 晴斗 (2-4 H)
水谷 薫 (1-1 H)

★四国卓球選手権大会団体
戦への出場権獲得

男子シングルス
ベスト8

水谷 薫 (1-1 H)

女子団体
第3位

下元 千夏 (2-3 H)
西田 瑠来 (2-4 H)

島崎 歩 (1-4 H)
小原 彩羽 (1-5 H)
逢坂 穂花 (1-7 H)
★四国卓球選手権大会団体
戦への出場権獲得

◆四国卓球選手権大会(ジュ
ニアの部)県予選会

男子シングルス
ベスト8

濱田 隼矢 (2-2 H)
井上 晴斗 (2-4 H)
奥野 海翔 (1-2 H)
ベスト16
水谷 薫 (1-1 H)

★四国卓球選手権大会個人
戦への出場権獲得

◆四国卓球選手権大会(一般
の部)県予選会

女子シングルス
第7位

小原 彩羽 (1-5 H)
西田 瑠来 (2-4 H)
下元 千夏 (2-3 H)

★四国卓球選手権大会個人
戦への出場権獲得

◆令和7年度高知県高等学
校冬季卓球選手権大会
(新人戦)

男子団体
第2位

黒原 伊吹 (2-1 H)
田上 輝 (2-2 H)
濱田 隼矢 (2-2 H)
井上 晴斗 (2-4 H)
奥野 海翔 (1-2 H)
谷岡 優太 (1-2 H)

★全国選抜大会四国地区予
選会への出場権獲得

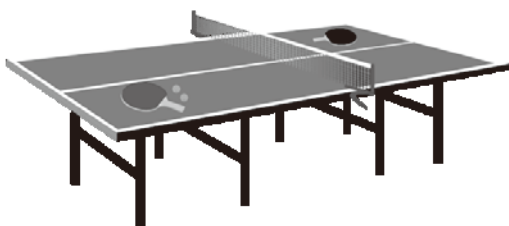
男子ダブルス
ベスト8
濱田 隼矢 (2-2 H)
奥野 海翔 (1-2 H)
井上 晴斗 (2-4 H)
水谷 薫 (1-1 H)

男子シングルス
ベスト8
黒原 伊吹 (2-1 H)
濱田 隼矢 (2-2 H)

女子団体
第3位
下元 千夏 (2-3 H)
西田 瑠来 (2-4 H)
島崎 歩 (1-4 H)
小原 彩羽 (1-5 H)
逢坂 穂花 (1-7 H)

女子ダブルス
ベスト8

下元 千夏 (2-3 H)
西田 瑠来 (2-4 H)



【バドミントン部】

◆令和7年度高知県高等学
校夏季バドミントン選手
権大会

女子団体
ベスト8

細川 葉那 (2-5 H)
南 嘉乃 (2-5 H)
白井 皐月 (1-4 H)
岡 七星 (1-5 H)
泉 翔子 (1-1 H)
弘石 愛友 (1-1 H)
土居 美月 (1-5 H)
西村 新菜 (1-5 H)

◆令和7年度高知県高等学
校夏季バドミントン選手
権大会

男子シングルス
ベスト8

橋田 航典 (2-3 H)

【サッカー部】

◆第46回国民スポーツ大会
四国ブロック大会サッカ
ー競技

少年男子の部

準優勝(全国大会出場)★
大川 哲平 (2-6 H)
山本 里太 (1-1 H)
井上翔珠人 (1-3 H)
濱田 愛大 (1-3 H)
笹原 漣斗 (1-6 H)

◆第79回国民スポーツ大会
サッカー競技

少年男子の部

大川 哲平 (2-6 H)
山本 里太 (1-1 H)
井上翔珠人 (1-3 H)

濱田 愛大 (1-3 H)
笹原 漣斗 (1-6 H)

◆令和7年度高知県高等学校
校サッカー秋季大会 兼
第104回全国高校サッ
カー選手権大会
○高知県大会
ベスト8

【陸上競技部】

◆令和7年度全国高等学校
総合体育大会陸上競技の部

○女子5000m W
出場

川上 葉奈 (3-2 H)

出場

○男子1000m
宗石 直樹 (3-6 H)

出場

宗石 直樹 (3-6 H)

◆第55回高知県高等学校新
人陸上競技選手権大会

○男子4000m
第6位 近藤 永騎 (2-4 H)

○女子2000m
第6位 山中歩乃花 (2-3 H)

○女子4000m
第5位 芝 彩芭 (2-5 H)

○女子8000m
第1位 吉良 環那 (1-5 H)

○女子15000m
第2位 吉良 環那 (1-5 H)

○女子4000m H
吉良 環那 (1-5 H)

○女子4000m H
吉良 環那 (1-5 H)

第2位 博田 愛笑 (2-5 H)
第4位 武内 望央 (1-3 H)

○女子4×1000m R
第3位 山中歩乃花 (2-3 H)

芝 彩芭 (2-5 H)
博田 愛笑 (2-5 H)

○女子砲丸投
第7位 橋本七愛音 (1-4 H)

○女子やり投
第1位 橋本七愛音 (1-4 H)

第1位 松本 海風 (2-7 H)

第3位 野中 心結 (2-4 H)

第4位 中越萌々香 (2-3 H)

◆第38回春野オープン陸上
競技大会

○一般男子4×1000m R
第5位 近藤 永騎 (2-4 H)

大原 郁人 (2-5 H)
濱田 士龍 (2-6 H)

濱口 隼 (1-3 H)
○一般女子30000m

第7位 河合 花梨 (3-1 H)

○一般女子4000m H
第1位 博田 愛笑 (2-5 H)

○一般女子4×4000m R
第2位 芝 彩芭 (2-5 H)

博田 愛笑 (2-5 H)
橋本七愛音 (1-4 H)

○一般女子4×4000m R
第2位 芝 彩芭 (2-5 H)

吉良 環那 (1-5 H)
○一般女子砲丸投
第7位 佐竹 心和 (1-5 H)

○一般女子やり投
第1位 松本 海風 (2-7 H)

第5位 野中 心結 (2-4 H)

第8位 中越萌々香 (2-3 H)

◆第27回四国高等学校新人
陸上競技選手権大会

○女子8000m
第4位 吉良 環那 (1-5 H)

○女子15000m
第5位 吉良 環那 (1-5 H)

○女子やり投
第3位 松本 海風 (2-7 H)

○男子少年A1000m
出場 宗石 直樹 (3-6 H)



◆第79回国民スポーツ大会
陸上競技

○男子少年A1000m
出場 宗石 直樹 (3-6 H)

○男子少年A1000m
出場 宗石 直樹 (3-6 H)

◆第37回全国高等学校女子
駅伝競走大会高知県予選会
第3位 河合 花梨 (3-1 H)

近藤 瑠愛 (2-5 H)
武内 望央 (1-3 H)

橋本七愛音 (1-4 H)
吉良 環那 (1-5 H)

◆【男子ソフトテニス部】
令和7年度高知県高等学
校ソフトテニス秋季大会

○男子団体戦
第3位 池 湊人 (2-3 H)

佐竹 雄心 (2-4 H)
矢野琳太郎 (2-4 H)

井上 碧 (2-5 H)
藤戸 悠光 (1-4 H)

橋本 悠史 (1-6 H)
宮本 拓歩 (1-6 H)

◆令和7年度高知県高等学
校ソフトテニス冬季大会

○男子団体戦
第3位 池 湊人 (2-3 H)

佐竹 雄心 (2-4 H)
矢野琳太郎 (2-4 H)

井上 碧 (2-5 H)
岡林 空 (1-1 H)

藤戸 悠光 (1-4 H)
橋本 悠史 (1-6 H)

宮本 拓歩 (1-6 H)

◆【男子弓道部】
令和7年度高知県高等学
校弓道夏季選手権大会

○男子個人
第5位 佐川 大和 (1-2 H)

○男子個人
第5位 佐川 大和 (1-2 H)

○男子団体
第5位 高橋 太寿 (2-3 H)

中西 悠太 (2-3 H)
石原 匠 (2-6 H)

石川 千裕 (2-7 H)
恒石 岳玖 (2-7 H)

中川創太郎 (2-7 H)
佐川 大和 (1-2 H)

◆第46回国民スポーツ大会
四国ブロック大会弓道競技
○少年男子

第2位 川原 孝誠 (3-7 H)

◆令和7年度高知県高等学
校弓道秋季選手権大会

○男子個人1年生の部
第4位 佐川 大和 (1-2 H)

○男子団体
第6位 石原 匠 (2-6 H)

佐川 大和 (1-2 H)
宮本進之介 (1-2 H)

北川蒼一郎 (1-3 H)
中川 一颯 (1-5 H)

◆第79回国民スポーツ大会
弓道競技

○遠的少年男子
第8位 川原 孝誠 (3-7 H)

○遠的少年男子
第8位 川原 孝誠 (3-7 H)



【ライフル部】

◆令和7年度高知県高等学校

校ライフル射撃競技夏季選手権大会

○チームライフル少年男子

立射60発競技

第1位

尾崎凜太郎（2ー2 H）

第2位

山本 朱濤（2ー2 H）

第3位

伊藤 慎悟（2ー5 H）

第4位

公文 大智（2ー2 H）

第6位

麻田泰之介（2ー6 H）

○チームライフル少年女子

立射60発競技

第5位

高橋 瑠里（2ー1 H）

○チームピストル少年男子

立射60発競技

第1位

西村 奏汰（2ー7 H）

○チームライフル少年男子

立射60発競技団体

第1位

尾崎凜太郎（2ー2 H）

公文 大智（2ー2 H）

山本 朱濤（2ー2 H）

◆令和7年度高知県高等学校

校ライフル射撃競技秋季

選手権大会兼新人大会

○チームライフル少年男子

立射60発競技

★第1位

尾崎凜太郎（2ー2 H）

★第2位

山本 朱濤（2ー2 H）

★第3位

伊藤 慎悟（2ー5 H）

★第8位

公文 大智（2ー2 H）

○チームライフル少年女子

立射60発競技

★第7位

高橋 瑠里（2ー1 H）

○チームピストル少年男子

立射60発競技

★第4位

西村 奏汰（2ー7 H）

○チームライフル少年男子

立射60発競技団体

第1位

尾崎凜太郎（2ー2 H）

山本 朱濤（2ー2 H）

伊藤 慎悟（2ー5 H）

○チームライフル少年女子

立射60発競技団体

第3位

高橋 瑠里（2ー1 H）

大野 柚寿（1ー1 H）

影山 結美（1ー3 H）

★四国高等学校ライフル射

撃競技新人大会兼全国

高等学校ライフル射撃競

技選抜大会（四国ブロック

予選）への出場権獲得

◆第76回四国高等学校選手

権水泳競技大会水泳競技

の部

○女子50 m自由形

出場

岡村 咲希（2ー4 H）

○女子100 m自由形

出場

岡村 咲希（2ー4 H）

◆第76回四国高等学校選手

権水泳競技大会

○水球競技の部

第1位

有藤 友作（2ー3 H）

◆第93回全国高等学校総合

体育大会

○水球競技の部

出場

有藤 友作（2ー3 H）

◆第48回全国JOCジュニ

アオリピック夏季水泳

競技大会

○水球競技の部

第3位

岡村 咲希（2ー4 H）

◆第79回国民スポーツ大会

水泳（水球）

第7位

岡村 咲希（2ー4 H）

出場

有藤 友作（2ー3 H）

◆第10回高知県学年別水泳

競技大会

○女子50 m自由形

第3位

岡村 咲希（2ー4 H）



令和7年度 後期生徒会執行部役員

役 職	氏 名	学年ホーム
生徒会長	西村 柊雅	2年1 H
副 会 長	五藤 衣花	2年6 H
文化部長	山崎 虎太郎	2年5 H
体育部長	森光 遥翔	2年4 H
交流推進部長	松下 由愛	2年5 H
交通自治部長	大森 こはる	2年3 H
保健美化部長	吉市 早希	2年5 H
広報伝達部長	黒石 怜那	2年1 H
会計部長	海地 由菜	2年3 H
書 記	中平 侑希	1年1 H
会計監査委員長	西尾 萌花	1年3 H



令和7年度
後期生徒会
執行部役員決定！

十一月十九日(水)、令和七年度後期生徒会役員執行部の立候補者による立会演説会が行われました。今回の選挙においては、生徒会長は三名、副会長は二名による決選投票、他の役員は信任投票ののち、役員が決定されました。

生徒会長あいさつ

生徒会長 西村 柊雅
この度、生徒会長を務めることとなりました。二年一Hの西村柊雅です。生徒の皆さんの声を大切に、それをしっかりと形にするので、小津高校をより活気あふれる学校にしていきたいと考えています。そのため、生徒会のメンバーをはじめ、生徒の皆さんや先生方のご協力が不可欠です。伝統を大切にしながら新しい風も取り入れ、より良い小津高校を築けるよう全力を尽くします。どうぞよろしく願います。

保育園「読み聞かせ」実習

これまで続けてきた読み聞かせ講習会は、今年二十回目という節目を迎えました。そして講習会で学んだことを、保育園読み聞かせ実習で生かすことができました。

講習会は、七月十八日(金)一学期終業式の午後、「絵本の店 コッコ・サン」の店長・森本様におこなっていただきました。開始後すぐは少し硬めの雰囲気、照れもあつたようでしたが、森本様の明るい笑顔に引き込まれるように体を動かしたり声を出したりするうちに、初対面の参加者同士の間にも自然と笑顔が広がっていました。読み聞かせをおこなうに当たってのコツや注意点など具体的なことも教わりましたが、それ以上に、「気持ちの持ちよう」などを学べたことが、参加者たちにとって強く印象に残ったのではないかと思います。

読み聞かせ実習当日の七月三十日(水)は天候に恵まれ、猛暑の中、保育士等志望の三年生と、図書部員との計十一名で小高坂保育園まで徒歩で向かいしました。直前の練習では、緊張や不安も感じられましたが、「園児たちに楽しんでもらうにはまず自分が楽しむことが大事」という助言を思い出し、落ち着きを取り戻すことができました。どのグループも練習の成果を存分に発揮し、四歳児クラス、五歳児クラスとも大盛り上がりでした。交流の時間には、全身でぶつかってくる園児たちのパワーに気圧されそうになりながらも、そのかわいらしさにどの参加者も笑顔がはじけていました。帰ってきたときには、参加生徒全員の顔に達成感や満足感が浮かんでいました。おつかれさまでした。



カウンセラー便り



スクールカウンセラー

吉野 飛鳥

小津高校のみなさん、こんにちは。長かった二学期がようやく終わろうとしています。今年も暑い暑い夏が終わったと思うとあっという間に寒くなりました。体も心も変化に追いつかないまま冬になっているのではないでしょうか。

二学期には二年に一度の若鳩祭が開催され、日常とは異なる雰囲気の中で学校の様子に私もワクワクしながら過ごしていました。体育祭が終わった途端にいつもの日常に戻り、みなさんの切り替えの素晴らしさに感心していました。日頃からさまざまな場面で必要とされる「切り替える力」をみなさんはどのように育んでいますか。高校生活の中では、勉強に課題に部活に：あれもこれもしなくてはいけないことが多いのではないのでしょうか。そんな時にお勧めの方法は状況を整理することです。優先順位も大切ですが、自分にとって取り組みやすいものを探すことです。しなくてはいけないことができない時、一番エネルギーを使うのが最初の動きです。何かを始める時、一度動き始めると次の事がスムーズにできる経験は誰にでもあるのではないのでしょうか。最初に一番しんどいことからではなく、これならやってもいいかなと思えるものから始めてみてください。きつと次のステップに繋がると思います。ぜひ試してみてくださいね。

相談室では、みなさんがよりよい高校生活を送れるよう一緒に考えていければと思います。気軽に相談室を利用して下さい。また三学期にお会いできることを楽しみにしています。

～ 利用方法 ～

日時	水曜日(12時00分～17時30分)
場所	4階カウンセリング職員室隣の面談室
予約	担任の先生やカウンセリング職員室の先生、養護教諭の先生などを通じて予約ができます。また、SCの勤務日に直接面談室に予約をとりに来てもらっても構いません。

三 体育祭

悪天候により順延となったミニ体育祭が9月29日(月)に行われました。ミニ体育祭ではパネル掲示や応援合戦などは行われませんが、各国・各学年による熱戦が繰り広げられ、最後は学年を越えて一致団結する姿に、大きな声援が送られ、大体育祭に負けない盛り上がりとなりました。

開会式



100m走



100m走



行き先はわからん



障害物競走



ムカデ競走



タイヤ奪い



綱引き



いなばのハト渡り



玉入れ



騎馬戦



園児と交流



青組応援



赤組応援



黄組応援



番外編



ホーム対抗リレー



色別対抗リレー



閉会式



若鳩祭

9月20日(土)～21(日)の日程で2年に一度の若鳩祭が開催されました。1日目は体育館で開会式、企画紹介を行った後、文化部の発表を中心にした文化祭が始まりました。生徒会企画のスタンプラリーの効果も相まって、多くの生徒が様々な企画場所を訪れました。2日目の飲食店には行列ができ、各ホームや文化部の企画も人で溢れ、2日間通して約3,100人もの来場者が訪れるほど大盛況となりました。この日に向けて準備した展示、発表などを行った文化部等の団体はもちろん、各ホームで一から企画運営するという経験自体がそれぞれの成長に繋がると思いました。

各ホーム・個人の企画



ラウンドワンワン(1-1H)



縁日、はじめました。(1-3H)



おいしいだけじゃだめですか?(1-4H)



制限の多い料理店(2-1H)



Ozoo(2-2H)



OZU神社(2-3H)



よねむーのトッポギアイランド(2-4H)



2-6's Black Ace(2-6H)



VS混貴(2-7H)



爆食者の喜び(3-1H)

育ちゃんも文代ちゃんも喰った
幻のからあげ!!うどんもあるよ~(3-2H)

一平より愛をこめて(3-4H)



閉鎖病院(3-5H)

文化部活動の企画



開会式



華道部



茶道部



生物部



科学部



地学部



音楽部



フォークソング部



吹奏楽部



英語部



写真部



新聞部



書道部



漫画研究部



将棋囲碁部

文部科学省指定

SSH
(スーパーサイエンス
ハイスクール)

認定校2年目

各SSH担当より

令和七年度SSH活動の概要

本校は令和六年度から、SSH認定校の指定を受け、これまでのSSHの取組を継続実施しながら、『地域で活躍できる人材（リージョナル・イノベーター）の育成』に取り組んでおります。

今回は、六月以降に実施されたSSH活動の様子を中心にご紹介したいと思えます。

●SSH課題研究活動
◆普通科 総合的な探究の時間

○ミニ課題研究（一年）

一年生は、六月二十日（金）から全六回の授業で「ミニ課題研究」に取り組ましました。

SDGsや高知県の現状についての講演会で得られたグローバルとローカルの視点をふまえ、探究プロセスを実践する活動でした。

問いの立て方を高知県に関するグラフを用いながら学びました。夏休みの取り組みとして、高知県の地域や特色を調べ、その中か

ら課題を発見して問いや仮説を立て、クラスメイトと共有しました。さらに、立てた問いを、すぐに答えの出ない問い「リサーチクエスト」に昇華させる探究プロセスを体験しました。



ミニ課題研究に取り組む様子

ミニ課題研究を通して、二年生になってから取り組む課題研究において求められる「課題の発見」「情報収集」「情報整理・分析」「まとめ・表現」といった力の基礎が養われました。

二学期後半からは、地域フィールドワークを通して高知県の魅力や課題について理解を深めていく予定になっています。

○課題研究進捗状況クラス発表会（二年）

十月二十八日（火）、普通科二年生は、課題研究進捗状況クラス発表会を行いました。今年は中学生の体験入学と同日に発表会をしまし

た。発表会では、中学生が教室の中に入り、見学をしました。生徒たちは自分の研究グループメンバー以外のクラスメイトに、夏休みに行った活動や活動結果の分析、この分析結果を受けて今後どのように活動して行くかなどについて、説明をしました。この活動を通して、自分たちの研究内容を整理しなおしたり、多くの人から意見をもらったりすることができました。次回以降は、一月の発表会に向けて、スライドを作成する活動に入ります。

◆SSH生徒研究発表会

（兵庫県神戸国際展示場）

八月六日（水）、七日（木）に、兵庫県神戸市 神戸国際展示場で令和七年度SSH生徒研究発表会が開催され、本校からは生物分野の「土佐あかうしのルーメン発酵で発生するメタンを減少させる物質の探索」が代表として参加しました。

開催一日目は、各校のポスター発表および審査が行われ、他校の生徒や審査員が、発表ブースに次々と訪れてくれました。「メタンが減ることでの牛への影響はあるのか」など自分たちには無かった視点からの質問を受けたことで、研究に対する視野の広がりにつながったと思います。

開催二日目は、代表校による全体発表が行われまし

た。代表校の発表は素朴な疑問や経験からスタートし、社会実装を意識した研究や、手法として機械学習などを上手に取り入れた研究など、夢のある研究ばかりでした。

発表会を通して、全国の高校生と交流を深めることもでき、充実した時間を過ごすことができました。



SSH生徒研究発表会の様子

◆第二十七回中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会（愛媛大会）

中国・四国・九州地区の理数科設置校の代表生徒が一堂に集まり、課題研究の成果を発表する大会です。今年度は愛媛県西条市で開催でした。

本校からは、ステージ部門に「浦戸湾における黒い津波の発生とその影響について」（地学分野）が代表として参加しました。昭和の南海地震の記録写真のカラー化に取り組んだこと

や、高知県内初となる水中ドローンを使った浦戸湾の潜水調査などについて発表しました。

ポスター部門には「N-Aの構造と甘味の関係について」（化学分野）が代表として参加し、長年明らかにできていない、N-アセチルアスパルテーム（卒業生が合成した化合物）の結晶構造解明に向け、単結晶の生成に取り組んだ過程を発表しました。

研究発表を通して、自分たちが取り組んできた課題研究の「面白さ」や「発展性」などにも改めて気づくことができました。人生で一番緊張した「ヤバかった。体の震えが止まらない」などの感想を漏らす生徒もおり、貴重な経験であったことが窺えます。



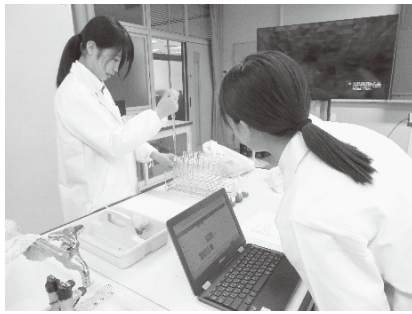
会場での記念撮影

◆理数科 理数探究基礎
○ミニ課題研究Ⅱの取組
（一年）

一年生理数科では、理数探究基礎の中で、ミニ課題研究Ⅱに取り組んでいます。

二学期は、物理・化学・生物・地学・数学の各分野に分かれてミニ課題研究Ⅱに取り組んでいます。二年生から始まる課題研究に向けて、それぞれの分野で必要な実験器具の扱い方や仮説を明らかにするための研究計画の立て方、研究手法やスライド発表の仕方を学んでいます。

ミニ課題研究Ⅱへの取組を通して、生きた知識を身に付けるとともに、「なぜ」という疑問を深く掘り下げ、探究力を磨いてほしいと思います。



pHと色素の関係について

◆理数科 理数探究
○課題研究の取組(二年)
二学期からは二年生の課題研究活動が本格的に始まりました。現在、物理二・化学三・生物二・数学一・地一・総合二の全十一グル

ープに分かれて活動を行っています。高知工科大学の探究サポート事業を活用して、大学の先生に研究について相談に乗ってもらったり、休み時間や放課後を使って担当教員に相談をしたり、先行研究の調査や実験に取り組んだり、各グループが頑張っている姿が見られています。



実験道具の作成の様子



試薬調整の様子

限られた時間ではありませんが、主体的に研究に取り組むことで、課題発見力・倫理的思考力・協働力・情報収集力・情報発信力などを伸ばし、将来的に地域で活躍できる人材(リージョナル・イノベーター)に育ってもらいたいと

思います。

◆「短期集中体験ゼミ」 物理実験体験ゼミ

七月二十五日(金)の午後、高知大学朝倉キャンパスにて、物理実験体験ゼミを実施しました。十二名の生徒が参加し、高知大学の加藤治一先生から超伝導の講義を受け、実験を行いました。

はじめに超伝導について講義があり、実験のねらいや概要、理論などを確認しました。その後、班に別れ、T Aの指導の下、体験実習に臨みました。試料を液体窒素で冷却し、超伝導体の性質を観察しました。磁石に対して完全反磁性を示し、超伝導体が浮く様子が見られ、生徒達は興味深く観察していました。また液体窒素を用いた実験では空気中の酸素が冷やして液体になると水色になることを確認しました。続いて超伝導体の温度を下げて電気抵抗が0になることを確かめる実験を行いました。

最後のまとめでは、各班が行った実験の結果についてまとめて発表しました。体験ゼミ終了後、参加生徒が「超伝導の仕組みについてさらに深く学びたい」と思っていた「身近なもの結びつけた」感想を話していました。



温度を下げて超伝導を確認する実験

◆A I体験ゼミ

八月三十日(土)に、A I体験ゼミを実施しました。他の県立高校からも多く参加してくれました。講師は、高知工科大学の吉田真一教授で、A I技術や情報分野に興味のある高校生に対して、分かりやすく丁寧に指導してくださいました。

初めはA Iについての基礎的な知識の確認をし、現在注目されているデータサイエンスの内容を実際のデータを活用し、回帰分析や散布図の作成をしました。また、講義後半はニューラルネットワークとディープラーニングについて基本知識を学習するとともに、顔認識ソフトを利用してA Iの正確さや不確かさを体験しました。また、生徒が発信した単語を収集し、A Iがそれらの単語を繋ぎ合わせ、曲を作成するという技術も体験することができました。様々な場所で使われている生成A Iの事例を聞

くことにより、興味・関心を深め、貴重な体験をすることができました。



回帰分析の演習の様子

◆科学巡検体験ゼミ

十月二十五日(土)、二十一日(日)に、土佐清水ジョパークを中心に四国太平洋側(黒潮町、四万十市、土佐清水市)の自然やその地質の形成過程および地域の人たちの関りを考える科学巡検体験ゼミを実施しました。

初日の黒潮町土佐佐賀では、津波避難タワーを見学するとともに地域の方々が自らできることを考え実践されていることを聞き取りました。また入野では、安政の地震発生当時の様子が描かれた入野加茂神社震災碑の見学や黒潮町役場の防災担当の方から黒潮町の防災に対する取り組みの説明を受けることで、災害対策に対する意識を向上させることができました。また、



白山洞門にて

土佐清水市竜串地区では、地震津波の様子がわかる堆積岩や生痕化石の観察を行いました。足摺海洋館では、特に高知県に関わる生物の展示に尽力しており、本県の自然の恵みを実感するとともに環境保全の意識も高まりました。

二日目の土佐清水市松尾地区では、漁業が栄えた文化や自然の様子、足摺岬では、火成岩の特徴的な組織を観察し、四国南海地域の地質形成過程について詳しく学習することができました。そして、乾燥や潮風に強い海岸性の植物を観察し、四国南海地域の特徴的な植生についても学習しました。この地域の方々は今、自然の状態を残すため、様々な機関と連携し環境保全に取り組んでいることもお聞きしました。

今回の巡検を通して、四国南海地域の自然や暮らしについてより理解を深めることができました。

◆化学実験体験ゼミ

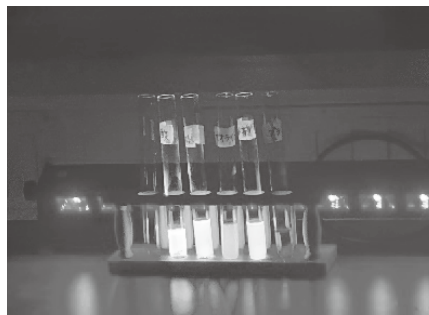
十月二十五日(土)高知大学理工学部で、化学実験体験ゼミを行いました。化学先生命理工学科の今村和也先生指導の下、「触媒による色素の合成」実験を行いました。異なる酸触媒(陽イオン交換膜、ゼオライト、硫酸)を用いることで、目的物であるフルオレセインの合成にどのような影響が出るのかを体験的に学ぶことができました。また、反応が進むのを待つ間は「光触媒の超親水化」についての講義を受けました。光触媒についての話、身の回りでの活用、それに至るまでのトライ＆エラーの過程など、少し難しい内容でしたが、非常に興味深い内容でした。特に、「いつ役に立つかわからない」のが研究で、根気強く継続することが大事だと学びました。また、研究をするうえで、「強みを強みに、弱みを弱みに」という意識をもつと、研究の独自性が生まれやすいというお話は、とても印象に残りました。今村先生は、高校生のうちに、ぜひ校外の活動に積極的に参加して、自分の視野を広げてほしいと仰っていました。

長時間の内容でしたが、難しいながらも実験を楽しみ、大学生や大学院生とも交流を深めることができ、将来の進路について考える

ことができた有意義な時間を過ごすことができました。



今村先生の講話を受ける様子



光触媒反応が起こる様子

◆サイエンスフィールドワーク 瀬戸大橋にて、巨大建築物 造物の見学実習 (理数科二年)

十月二十四日(金)に、香川県にある瀬戸大橋記念館と与島PA内でサイエンスフィールドワークを実施しました。

記念館では、瀬戸大橋建設の肝であったケーソン設置

の海中大工事について、実際に使用した機械や実物模型などの展示を見ながら深く学びました。与島PAでは瀬戸大橋を実際に見ながら、本州四国連絡高速道路の職員の方から橋の概要やその管理・維持方法などを説明していただきました。その後、通常は入ることのできないアンカレージ内に入り、瀬戸大橋の建設手順についてパネルを使って説明していただきました。



与島PAでの研修の様子

◆その他 ●理数拠点校としての科学 推進進事業「中学生科学実 験講座」

八月三日(日)に、「中学生科学実験講座」を開催しました。今年度は化学分野と物理・地学分野の二講座で実施しました。

化学分野では、イチゴ・パイナップル・バナナの香りをもつエステル

の合成実験を行いました。物理・地学分野では、楽器や地震の揺れについて調べる中で規則性などを発見する体験をしました。

どちらの講座も実験を通して体験的に学ぶことで、科学に対する興味・関心を高める機会にしていただけたのではないのでしょうか。来年度以降も実施していく予定ですので、ぜひ多くの中学生に参加いただければと思います。



音と振動についての実験の様子 香りのある分子の合成実験の様子

*SSH活動の様子は、本校HPにも掲載しています。

PTAの活動報告

PTA秋の研修行事 《救命救急法》報告

○日時 令和7年11月16日(日)
9:20～12:00

○場所 高知小津高等学校体育館1F柔道場

○参加者 23名(保護者等12名、生徒9名、教員2名)

○研修内容 講師…日本赤十字社高知県支部
事業推進課 田村憲嗣さん

- ・人形を使用した心肺蘇生法の体験実習
- ・AEDの使用方法的実習
- ・三角巾を使用した止血法や腕のつり方
- ・ロープワーク もやい結びなど

《研修に参加された方の感想》

- ・実際に機械や人形を使って体験できたので理解が深まった。
- ・ロープワークを、笑いを交えて教えてくれた講師の田村さんが面白かった。
- ・緊急時に落ち着いて対応できるように今回学んだことを活かしたいと思います。
- ・ロープがうまく結べた時は達成感と喜びを感じた。
- ・緊急時は身近な物を使って色々と対応出来ることを知った。
- ・救急隊員が到着するまでの時間、心臓マッサージを一人するのは無理だと実感した。沢山の人が講習を受けて出来るようになればいいなと思った。
- ・子どもは中学校の時に講習を受けていて少し自信があったようですが、実際は「ようせん!」と言っていたので再確認出来て良かったと思います。
- ・ロープワークも自衛隊の体験で教えて貰ったと言っていました。が全然できなくて、繰り返しやって習得する事が必要だと感じました。
- ・とっさの時に動けるような人になれる様に、又このような機会があれば参加して経験を積んでいきたいです。
- ・以前消防で研修を受けたことがあります。消防(救急)の方より、詳しく説明をして頂いたと思います。

- ・参加者が少し少なかったのは残念でしたが来年以降は学校側とタイミングが合えば、アナウンスを早めにしても良いかと思いました。
- ・人の命を救う難しさがわかりました。ロープワークは難しかったけどできた時めっちゃ嬉しかった。受講してよかった。
- ・受講する前、二時間半の講習は「長いな」と思いましたが、面白くてあつという間でした。

今回の講習が学校の授業でもあればいいのに、と思いました。

- ・AEDの場所を聞かれた時に、先生だけでなく、生徒さんもサッと答えていたのを見て、普段から防災意識を持つように生徒を指導されているんだな、と感動しました!又、来て間もない人達、誰もがAEDの置いてある場所が分かるような張出が要所にあるといいなと思いました。
- ・職業柄何度も受けている講習ですが、毎回更新されていっているの、自分も更新して古くならないように!忘れないうちにも、機会があったら受講したいなと思います。

- ・今回の研修に、息子と一緒に受講する事が出来ました。息子に大切な人が出来た時、誰かが助けが必要な時、私が助けて欲しい時!には助ける術と心構えが出来たと思います。いつも「人を助ける事が出来る人になりたい」と言っていますので、一歩なりたいた自分に近づけたのではないかと思います。本当に感謝です!

今回の研修にご協力いただいた日赤・田村講師、山中先生、研修部の皆さん、本当にありがとうございました。



一年学年委員会主催 『学校探検ツアー＆部活動見学＆茶話会』

十一月八日(土)十四時からPTA一年学年委員会主催で学校探検ツアーが開催され、保護者二十二名が参加しました。二班に分かれて、本校教員の案内のもと校内を探検しました。西館、保存棟、芸術棟を回り、生徒達が日頃授業や部活動で利用している教室を見学したり、校史資料室では小津高校の歴史に触れたりしました。生徒が学習をしたり部活動をしたりしている様子も見ることができてよかったとお声もいただきました。学校探検ツアー終了後は自由に部活動を見学しました。

また、部活動見学と並行して茶話会も行われ、十四名の保護者と教員七名が参加しました。学校や家庭での生徒の様子を共有し、交流を深めました。クラスの垣根を越えて、参加者同士が先生方も交えて和気藹々とした雰囲気の中で話をし、クラスや家庭での子どもたちの様子や、親としての思いを分かち合うなど、お互いのことを良く知る機会となりました。来年度以降も是非続けて開催したいものです。

秋の交通安全キャンペーン実施

生活委員会

十月二十二日(水)の朝の通勤、通学の時間帯に、秋の交通安全キャンペーンを実施しました。本校の各ホームの前期交通自治委員の生徒をはじめ、高知警察署、交通安全協会高知支部の方々に参加し、本校からは六名の育成員が参加しました。また、高知丸の内高校から一名の育成員が参加してくれました。小津高校に集合した後、附属小学校南側の交差点に移動し、雨の降る中、生徒たちが中心になって、信号待ちの自転車や歩行者に交通安全の声がけと自転車のヘルメット着用啓発活動を行いました。



グローバルトークOZU 『異文化・国際交流会』 (PTA国際委員会)

八月二十日(水)、本校にて「グローバルトークOZU『異文化・国際交流会』」が開催されました。龍馬学園で日本語を勉強中の留学生を五名お招きして、自己紹介をしていただいたのちに、グループディスカッションを行いました。今回は、一年生普通科の行事と日程が重なってしまいましたが、生徒の参加が十名と例年より少ない参加数となりましたが、四名の保護者等の方も交流の輪に加わってください、活発に交流がなされている様子が見られました。終了後には、「日本との違いをたくさん見つけることができ、楽しかった」「や「異なる文化を知ることによって考え方や視点が広がるなど感じた」等の感想が寄せられ、参加者にとって充実した時間となったようです。



第七十四回全国高P連三重大会に参加しました

PTA会長 松本 憲誠

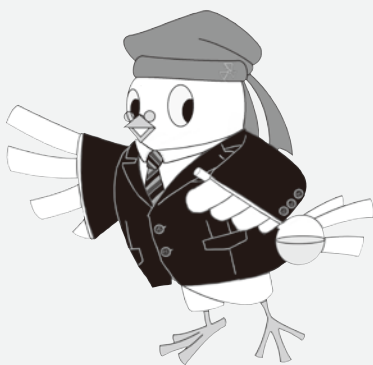
全国高等学校PTA連合会三重大会が八月二十一日(木)、二十二日(金)の二日間、三重県津市で開催され、総務部長の植村先生とともに参加してきました。大会前日に県高P連の佐竹会長らと空路、バスを利用し、まず、名古屋市にあるトヨタ産業技術記念館を訪れました。トヨタといえば日本の自動車産業をけん引してきたことで知られていますが、繊維産業においても功績は大きく、なかでも明治時代に開発された、動力を空費せず広幅の布を静かに製織できる環状織機を目の当たりにした際には、殖産興業の旗印のもと、日本の産業近代化に情熱を捧げた技術者たちの息吹を感じました。次に三重県の鈴鹿サーキットを訪れました。ここはレーシングコースだけでなく、遊園地と一体化したレジャー施設となっています。平日でしたが、家族連れで楽しむ姿が多く見られました。しかし、やはり何と言っても鈴鹿サーキットといえばモータースポーツの聖地です。八十年代末から九十年代と鈴鹿でのF1日本GPに胸を熱くしたのは私だけではないはずです。サーキットのスタンドに入ると、アイルトン・セナとアラン・プロストが爆音を鳴らして迫ってくる！一瞬、そんな気にさせてくれました。その後、出雲大社を訪れました。ここは誰もが知る神社です。時刻とも相まって境内はとても静かで心落ち着く雰囲気でした。敷地内をすべて周ることはできませんでしたが、歩みを進めるごとに日頃の雑踏から解放されるような気持ちになりました。

明けて大会初日は、津市・産業スポーツセンターにおいて全体会が開催されました。開催にあたり三重県立四日市商業高校のギター・マンドリン部と三重県立相可高校食物調理科から、日頃の活動成果が実演と映像で発表されました。いずれの発表も軽快で素晴らしい、会場全体がステージに釘付けになっていました。そして開会行事と全国高P連関係の表彰式が行われた後、四つの会場に分かれて分科会が開催されました。私が参加した第三分科会では、テレビ番組や舞台などの脚本と演出を手掛ける國友尚氏か

ら「AI時代におけるWell-Being」という演題で講演をいただき、その後、講演を受けて有識者によるパネルディスカッションが行われました。ここでは、進路やキャリアにおいて正解が見えないこの時代に、自身がどのような環境下においてもWell-Beingであるためにどう在るべきかを考えることの大切さ、多種多様な考え方のそのどれもが尊重されるべきだということを教わりました。

大会二日目の全体会は初日と同じ会場で、井村屋株式会社会長の中島伸子氏の記念講演でした。北陸トンネル火災事故での凄惨な体験から夢を断念せざるをえなくなったこと、職場で女性蔑視の強かった時代に逆境と格闘し、そして経営者にまでなったこと、働きながら子育てに奮闘してきたこと等、紆余曲折の人生から学び、組織マネジメントに活かしていることを静かに語られていました。しかし、その静かな口調からは重厚な人生経験に裏打ちされた確かなマネジメント力を感じさせられました。

今回の大会に参加したことにより、先行き不透明なこれからの時代において、どこに軸足を据えて人生を送るべきなのか、そして子ども達の成長をどう導いていくべきなのかを考えさせられました。PTA活動においては、これまで継続してきた活動を大切にしつつ、子ども達や時代の変化に順応した活動を検討していく必要性を感じました。この経験を活かして、今後のPTA活動をさらに活発なものにしていきたいと思えます。



冬来りなば春遠からじ

進路指導部

今年も残すところ約二週間となりました。一月十七日(土)、十八日(日)には大学入学共通テスト(以下、共通テスト)が実施され、大学入試も本番を迎えます。本年度、本校からは二四〇名の生徒が共通テストに出願しています。先週末には共通テスト本番と同様の日程で予行演習を実施し、受験勉強はいよいよ大詰めを迎えています。全国でも約四十九万人の受験生が出願し、目前に迫った試験に向けて追い込みをかけています。まずは体調管理に努めながら、最後の最後まで全力を尽くして頑張ってください。

さて、三年生の皆さんが受験する二〇二六年度入試は、新学習指導要領に基づく教育課程で学んだ皆さんが、経過措置なしに臨む最初の入試となり、二〇二五年度入試で導入された共通テストの教科・科目の変更が、全面的に適用されることとなります。本番直前の今、不安や緊張を感じるのとは当然のことです。しかし、この時期こそ、これまでの努力が実を結び、最も成績が伸びる「勝負の時期」であることを忘れないでください。冬季休業中は、まとまった時間を確保し、勉強に集中できる最後の貴重な機会です。

す。今やることは、これまでの学習内容を「総ざらい」することです。新しい問題集に手をひろげるのはもう終わりにし、これまで積み重ねてきた努力を、本番で確実に点数に結びつく力に変えていきましょう。過去問や模擬試験を徹底的に復習し、これまで間違えた問題や苦手だと感じていた分野に集中的に取り組むことが大切です。また、時間配分を身体で覚えることも重要です。共通テスト形式の模擬試験や過去問は必ず時間を測って解くことで「どの科目にどれくらい時間をかけるか」を体感しておきましょう。制限時間内に解ききる感覚、残り時間の感覚が、本番の落ち着きと正確な判断に繋がります。悔いの残らないよう、志望校合格に向けて最大限の努力をしてほしいと思います。

一方、一・二年生の皆さんは、目の前の勉強にしっかりと取り組むとともに、ぜひ、一年後、二年後の自分を想像してみてください。受験は基礎力の勝負であり、日々の授業の予習復習を確実に行うことが最強の対策となります。さらに、三年生になったときに、総合型選抜や学校推薦型選抜だけでなく、一般選抜で

も、高校生活で培った力や、大学での専門的な学びに向けて、どのような準備をしてきたかを自分の言葉で表現する力が求められます。時間的に余裕のある冬季休業中に、志望大学で学ぶことができる内容や、学問分野について確認しておきましょう。また、大学受験には受験料に加えて、交通費や宿泊費、合格した場合の入学金等が必要となり、費用面の検討も重要です。この機会を利用して、進路について話し合い、準備を始めてください。

最後になりましたが、入試本番となる冬は例年、感染症が流行する季節でもありません。これまでの努力を本番で十分に発揮するためには、体調を崩さないことが絶対条件です。心と身体の状態を安定させることがその第一歩です。「健康管理も入試科目の一つ」と言われるように、質の良い睡眠、栄養のある食事、そして時には軽い運動でリフレッシュする時間も大切に、規則正しい毎を送りましょう。三年生の皆さんのご健闘を心より応援しています。最後まで諦めずに駆け抜け、最高の笑顔で春を迎えましょう。

県内国公立大学
総合型選抜・
学校推薦型選抜
合格状況

高知大学	21名
高知県立大学	13名
高知工科大学	24名

今後の主な

行事予定

1月8日(木)	始業式
1月17日(土)・18日(日)	一・二年生課題テスト
1月26日(月)～1月30日(金)	大学入学共通テスト
1月30日(金)	一年生修学旅行
2月19日(木)～26日(木)	二年生錬歩会
2月27日(金)	学年末試験
3月1日(日)	卒業式
3月19日(木)	卒業式
3月19日(木)	終業式

編集後記

今号では若鳩祭やミニ体育祭などの行事を中心に掲載しました。中でも、二年に一度の若鳩祭には、二日間、約三千百人の方が訪れてくださり大盛況となりました。生徒のみなさんや保護者等の方はもちろんのこと、小津会やPTAなど様々な方のご協力により、盛大な行事を行うことができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

受験シーズンも到来し、追い込みの時期に入っていますが、くれぐれも健康にご留意のうえ、有意義な冬休みをお過ごしください。今後とも、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

*若鳩はホームページでもご覧いただけます。

<https://www.kochi-net.ed.jp/ozu-h/>

